

ひまわり号姫路の旅

ご案内



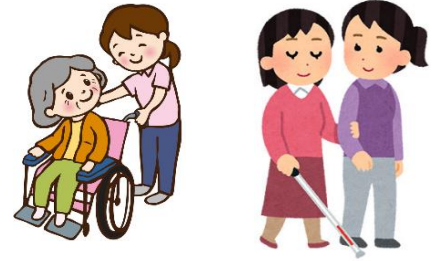
出発日 2024年5月26日(日)
行き先 姫路市

後援 倉敷市 倉敷市社会福祉協議会 山陽新聞社 OHK岡山放送

乗車申込のご案内

(1) 募集人員

障がい者	50名
付き添い家族	8名
介助ボランティア	80名
その他ボランティア	62名



(2) 運行日程



5月26日(日)



7時40分頃	倉敷駅で受付開始
9時15分頃	倉敷駅出発 ⇒ 11時15分頃 姫路駅着予定。 三の丸公園・美術館・動物園・好古園を散策します。
16時00分頃	姫路駅出発 ⇒ 17時50分頃 倉敷駅到着予定。

(3) 参加費



大人 3,000円 小・中・高・大学生 2,000円

(JR運賃、施設入場料、昼食弁当、保険料を含む)

※ 乗車されるすべての方の参加費は同額にしています。

※ 参加費は郵便振替用紙が届いてからお支払下さい。



(4) 申込方法



「姫路の旅」申込書を事務局まで郵送して下さい。

募集は4月1日(月)より開始します。

宛先 〒710-0051 倉敷市幸町 2-30 しげい病院内
ひまわり号を走らせる倉敷実行委員会 宛

■ 申込が募集定員を上回った場合は抽選とさせていただきます。
あらかじめご了承ください。

■ 抽選となった場合、結果は全員の方にお知らせします。

(5) 申込締切

申込締切	障がい者の方	4月15日(月)	必着
	ボランティアの方	4月30日(火)	必着

(6) お問い合わせ

日曜、祝日を除く、午前10時～午後3時までの時間

電話 086-422-3655

しげい病院の受付から、ひまわり号事務局を呼び出してください。

(7) 参加費納入

※参加費の納入は必ず、郵便振替でお願いいたします。



障がい者の方へ

参加条件

原則として市内およびその近郊にお住まいの方で、障がい者手帳、療育手帳をお持ちの方など何らかの障がいがある方であれば、どなたでも参加できます。

倉敷駅までの交通手段について

倉敷駅までは各自でお越してください。
バスやタクシー、福祉タクシーを利用しても、介助者が別に必要な方はご相談下さい。

ボランティアの方へ



ボランティアは初めてでもOK

介助の経験が無くても大丈夫です。困った時は周りの人に声をかけ、協力しましょう。

親子でのボランティアも歓迎します。(ただし、小学校4年生以上)
単独参加は中学生以上とします。

■ ボランティア教室を開催します。

(特に、初めての方は参加をお勧めします。)

5月 5日 (日) 午後1時より

くらしき健康福祉プラザ

倉敷市笹沖180

講習と実習で 2時間程度を予定しています。

必要なボランティア

ひまわり号では次のようなボランティアを求めています。



■ 介助ボランティア

車椅子の方や目の不自由な方と一日一緒に旅を楽しみ、必要な介助をします。

■ 設営ボランティア

車内の仮設トイレやベッド、おしめ交換所等を設置します。
朝早くから最後まで動きます。

■ レクボランティア

歌や腹話術、人形劇、紙芝居など得意なレクリエーションで楽しく和らいだ雰囲気を作ります。

■ 記録ボランティア

当日の様子を写真等に収め、後日記録集として作成します。

**☆ひまわり号では随時、会の運営スタッフも募集しています。
詳細は「ひまわり号HP」をご覧ください。**

姫路の見所

(1) 姫路城

姫路城は、日本独自の城郭建築の技術が最高潮に達した時期の最も完成された城と言われている。昭和26年に国宝、平成5年には日本で初めてユネスコの世界遺産(文化遺産)に登録された。



(2) 姫路動物園(お城の中の動物園)

ゾウやキリン等の多くの大型動物を始め約105種・420匹の動物がいる。「ふれあい広場」、「ミニ牧場」等もある。



(3) 姫路市立美術館(赤レンガのロマンチックな美術館)

旧陸軍の倉庫であった建物を活用した赤レンガが美しい美術館。姫路ゆかりの作品他、国内外の近代作品等を所蔵。フランス近代絵画を常設している。



(4) 好古園

好古園発掘調査で確認された姫路城の遺構を生かして市制100周年を記念して平成4年に造園された姫路藩藩主の下屋敷にあった、池泉回遊式日本庭園です。



守ろう平和 きずこう福祉 共に生きる街倉敷
みんなの心を連結し走れ ひまわり 夢乗せて

「ひまわり号」を走らせる倉敷実行委員会

事務局:倉敷市幸町 2-30 しげい病院内

電話: 086-422-3655